

# 国民の生命と財産を守る、電気電子・通信・情報のスペシャリスト!!

## [ 防災・減災 ]

災害時の被害を減らすため、  
電気通信設備が必要不可欠  
～専門知識を活用し設備を構築～



※Photo / 噴火直後の御嶽山の様子  
(防災ヘリ まんなか号より平成26年9月27日撮影)

## [ 災害対応 ]

災害が発生した時、真価が問われる  
～限られた資機材で様々な対応を実現～



被害を減らすため  
雨量・河川水位の情報を収集

適切な水量調整を行うための  
ダム放流設備

道路や河川の状況を把握  
カメラ設備

全ての設備に不可欠な  
電源の確保

災害現場の状況を監視  
監視カメラの緊急設置

災害現場の状況を伝達  
衛星通信回線を構築

関係機関との連携  
監視カメラの映像を共有

## CONTENTS

- ・ 防災・減災 \_\_\_\_\_ P. 3,4
- ・ 災害対応 \_\_\_\_\_ P. 5,6
- ・ 施設整備 \_\_\_\_\_ P. 7,8
- ・ 研修・訓練 \_\_\_\_\_ P. 9,10

はじめに... **First**



企画部  
情報通信技術調整官  
垣原 清次

### 情報通信技術が切り拓く新たな社会インフラの実現に向けて

地域の安全・安心を守り、国土交通省の仕事を支える情報通信設備は、情報システムや通信ネットワーク、電力設備など多岐に亘り、社会インフラの日常的な維持管理や災害対応に欠かせない重要な基盤となっています。また、近年の情報通信技術は、あらゆるモノのデジタル化が進み、AI(人工知能)が問題を解決するなど、あふれる情報から新たな価値を生み出す可能性を秘めています。社会インフラ分野も新技術の導入等が進み、近い将来、これまでにない高度なサービスが実現することが考えられ、電気・通信・情報分野への期待が高まっていることを実感しています。私たちは、各職員が持っている専門的な知識・技術・経験を結集して、チーム一丸となって社会インフラの課題を克服し、高度化・効率化に取り組みむことで、地域の安全・安心の確保や活力ある地域づくりに貢献していきます。